

相模原市体操協会女子採点規則

I 採点の基本方針

- 大会の趣旨に則り、美しさ・元気よさ・雄大さおよび演技の習熟度を評価する。
- 減点項目にはばかり目を向けることなく、演技全体を評価する。

II 演技の採点

採用規則

日本体操協会 女子 採点規則 2022 年度版 変更規則 I を採用

※跳馬は 1 演技

※一部市民選規則適用

特別規則

【難度】

- 採点規則に記載されていない技であっても、体操競技として合理的な技であれば、D 審判員の判断で 1 要素として認めることができる。K 難度として 0.1 を加算。ただし、要求要素としては認めない。
- 難度表にない開脚とび・閉脚とび・台上前転の D スコアは、1. 0 とする。

【減点】

小過失 0.1

中過失 0.2

大過失 0.3~0.4

落下・転倒 0.5

ライン減点は 1 回につき -0.1、タイム減点はすべて、-0.1 とする。(決定点より減点)

【短い演技】(決定点より減点)

全演技に対し、5 要素以上あれば減点なし。(1 要素不足ごとに -1.0)

【加点】(決定点に加算)

着地が止まった場合、0. 2 を加点する。

【跳馬について】

跳馬 小学生は 110cm か 125cm のどちらかの高さを選べる。

とび箱 高さ(約 50cm から 125cm)、たて、横は自由。

上記条件の違いによる点差はつけない。

とび箱は、小学生と中学生が実施できる。

【練習時間】

跳馬は 2 本、平均台、ゆかは一人 30 秒・段違い平行棒一人 50 秒を最低確保する。

【その他】

スポーツマンシップの優れた選手には、フェアプレイ賞が与えられる。